

事業報告

わが国の景気は一部に弱めの動きもみられましたが、緩やかに回復してきました。

令和6年度における国内新車自動車販売台数（登録車と軽の合計）は、1.0%増の457万5,476台と、上期は一部メーカーの出荷停止で登録・届出数が落ち込んだものの、秋から回復に向かい、年明けも順調に伸びたため、3年連続で前年度実績を上回りました。

本県における新車新規登録・届出台数は令和5年の大雨被害で高まった買い換え需要の反動減等により、前年度比2.6%減の39,812台となり、3年ぶりの減少となりました。

これを受け、当協会の主要業務である自動車番号標板交付・頒布事業の交付・頒布枚数は前年度比5.4%（9,825枚）の減少となり、交付・頒布手数料収益も同比4.4%減の390万円程の減収となりました。

一方、印紙類の売り捌き事業においては、特に自動車重量税印紙の販売額が新車新規登録及び継続検査におけるOSSの利用拡大に伴い、前年度比で2.7%減と落ち込み、手数料収益も48万円程の減収となりました。

希望番号の希望率は、登録自動車が36.0%と想定 of 33%を上回り、軽自動車も24.6%と想定 of 23%を上回りました。

令和5年10月23日から交付を開始しました「秋田版図柄入りナンバー」（秋田犬の親子）はお陰様で好調に推移しており、申込件数も本年3月17日をもって10,000件を超えました。

なお、当初、「秋田版図柄入りナンバープレート推進協議会」による普及促進計画では1年あたりの申込件数1,800件、5年で約9,000台の取付けが必要との普及目標をわずか1年半弱で達成しました。予想以上の人気ぶりとなりました。

また、このナンバーは、寄付なしのモノトーン版より寄付ありのフルカラー版の申し込みの方が8割り近くを占め圧倒的に多くなっています。

公益事業については、従来どおり交通事故防止啓発を始め自動車行政の推進に寄与し健全な車社会の発展に資する取り組みへの参加・支援・啓発等を積極的に行ってきました。